

項目	内容
名称	シシウド [英]Angelica pubescens, Angelica bisserata, Pubescent angelica root [学名]Angelica pubescens Maxim.
概要	セリ科の多年生草本であり、本州、四国、九州に自生する。茹でた若芽や乾燥したものが食される。根は唐独活(トウドッカツ)と呼ばれ、酒に漬けたり煎じたりして、食用に供される。また、根は、漢方製剤の原料として用いられ、日本薬局方外生薬規格に記載されている。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> ・根茎・軟化茎：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	クマリン誘導体(アングロールA~K、アングリン、アングルセリン、アングリトリオール)等を含む(101)。
分析法	シシウドの乾燥果実からのヘキサンまたは酢酸エチル抽出成分を用い、クマリン類がTLCにより単離され、IR及び <sup>13</sup> C-NMRスペクトルにより同定されている(1982018249)。 シシウドの根からのメタノール抽出成分から抗炎症性及び沈痛性成分が単離され、IR、 <sup>1</sup> H-NMR、 <sup>13</sup> C-NMRスペクトルからオストールと同定されている(1986145953)。

有効性		
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
ヒト 生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。	
で 脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。	
の 免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。	
評価 骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。	
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (102) 日本薬局方外生薬規格 2018 厚生労働省医薬・生活衛生局 (1982018249) 薬学雑誌. 1981;101(1):67-71. (1986145953) Chem Pharm Bull. 1985;33(12):5351-4.	